

OZU DISCOVERY CORNER

©IR(国際交流員) マシュー・サイバート Wow!

VOL.04 Dosento

国際交流員マシュー・サイバートと大津町の人々との交流を通して、いろいろな町の魅力を発見していくコーナーです！大津町に古くから伝わる郷土菓子「銅銭糖」。手作りにこだわり、160年以上の伝統を守りつづける浪花屋本店で、銅銭糖作りを体験レポート！

～銅銭糖ができるまで～



ひとこと質問コーナー

シンプルな材料ですが、なぜ大津町で作られるようになったのですか？



浪花屋本店 七代目 古庄 智子さん

材料のもち粉は、その当時大津町の豊かな水と動力とする水車で製粉していました。そのためもち米を使った菓子を製造しやすい環境にあったと聞いています。



力加減が繊細ですごく集中力が必要でした。ふるいから舞い降りるフワフワの粉が雪のようで私の故郷を思い出しました。旅人たちが持ち歩いていた銅銭の形がモチーフになっていると聞き、町の歴史を感じました。上品な甘さでおいしかったです！



学校での取り組みなどをご紹介
毎月14日は大津町教育の日 ●問い合わせ 役場学校教育課 学務係 ☎096(293)3349

町の小学生が台湾の姉妹校を訪問しました～光榮國民小學と学校交流～

グローバル化する社会で活躍できる人材の育成を目的として、平成28年度から大津町と台湾との学校交流が始まり、これまで台湾の多数の小中学生が町を訪れました。今回初めて、10月7日から10日までの3泊4日の日程で、21人の児童を町の代表として台湾へ派遣しました。訪問したのは、美咲野小と姉妹校である台湾の光榮國民小學。歓迎会で、町児童は嵐の「ふるさと」の合唱とくまモン体操を踊り、光榮小の児童は伝統芸能「跳鼓陣」を披露。光榮小ではカヌーの授業があり、今回ミニカヌー模型作りとカヌー体験を行いました。夜は光榮小の児童の家にホームステイし、台湾の生活や食文化に触れ、異文化理解を深めました。また、簡単な台湾語・日本語やジェスチャーを使って、ホストファミリーとの交流を楽しみました。

■10月29日に報告会を行いました

児童たちから「文化の違いを学んだ。日本食はおいしいということが分かった」、「台湾の人たちが優しく接してくれた嬉しかったので、これからは自分も人に優しくしたいと思った」、「家族のありがたさが分かった」「周りの人に感謝の気持ちを伝えたい」などの感想発表がありました。



1光榮小の児童が披露した「跳鼓陣」。迫力ある演奏と踊りに圧倒されました2ミニカヌー模型作りでは言葉が十分に通じない中でも協力して完成させることができました3完成したミニカヌーを手に笑顔で記念撮影



輝く人権

連載「人権シリーズ」
●問い合わせ
役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)7920



大津町地域人権教育指導員
いしまる 石丸リ工さん

平成26年4月から、町地域人権教育指導員をしています。今回は、10月29日に菊陽町で開催された「菊池地域人権・同和教育研修会」に参加しましたので報告します。

■菊池地域人権・同和教育研修会

私は、第1分散会でレポート報告をしました。「出会いを通じて感謝できたこと」と題して、私が行っている業務を通して感じたことや、自分自身が子どもの頃に経験した「いじめ」によって人間不信になってしまったこと、その一方でそんな自分の存在に気づいてくれた先生との出会いで「いじめを止



第1分散会の様子

めて欲しい」と訴える勇気と自信を持つことができたこと、自分の訴えによって「自分たちがやってきたことが間違っていた」と気付いてくれた「なかま」にも出会えたことについて話しました。
私にとって、とてもつらい学校生活でしたが、先生や「なかま」に出会えたことでもう一度自分の居場所を見つめることができたことも確かです。そのおかげで、家族をつくることもできました。
また、「指導員」としてお仕事できていることもそうですが、多くの人に会えて、人権学習ができていくことにとても感謝しています。
私にとって、今回の研修会でのレポート報告でも、多くの人にお世話になり、支えもらったことで報告することができました。今後もこの経験を「指導員」として伝え、啓発していきたいと思っています。



きらめく男女

連載「人権シリーズ企画①」
●問い合わせ
役場人権推進課 男女共同参画推進係
☎096(293)7920



大津町男女共同参画審議会
委員 さいとうようこ
斎藤陽子さん

私は、大津町のNPOで仕事をしています。NPOとは特定非営利活動法人のことで、地域の課題などに取り組み団体です。その団体の一員として、昨年度よりこの男女共同参画審議会での活動をしています。

「男女共同参画」と聞くと難しい話のように思えますが、男女の隔たりを無くした社会にするため、勉強会や啓発活動を行い、楽しく活動しています。私は、4人きょうだいの唯一の女の子として生まれ育ちました。特に「女の子だから」という特別扱いをされることもなく自由で育ててもらったと思います。あまり男女の格差を考えたことはありませんでした。そんな中、4年前に県主催の地域リーダー研修会に参加し、男女の格差について詳しく勉強する機会をいただきました。私た

ちが当たり前と思っている事にも多くの課題があり、しっかりと目を向けていかなければならないと思いました。今、働いているNPO法人クラブおおづでは、スポーツを通じた元気なまちづくり活動をしています。理事・役員は男女比がちょうど均等、会議や研修などでは、みんなそれぞれ意見を持っています。また、職員間では専門スキルだけでなく、接客やコミュニケーションの向上に取り組みながら、仕事や家族のことなど、いつでも気軽に話せるような環境、働きやすい職場を目指しています。

■たくさんの笑顔と夢が生まれるように
私は、地域活動の場を大事にしながら、さらに性別による格差や課題を抱えている人たちが参画できる活動となるよう、多様な視点でこれからも啓発していきたいと思っています。皆さんもぜひ、当たり前の日常にある課題に目を向ける時間を持って下さい！
第1回大津町男女共同参画川柳コンテスト

入選
「ありがとう今日も夫婦で夕げの準備」
与古田公子さん

